

【担当教員名】 原 敏明	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【＜一般目標：G I O＞】

医療・福祉に関係する近年の社会動向を、4～6人のチームで意見交換し、チームの意見と自分の意見を記載して提出することと、翌週、教室の他の学生の主な意見を知ることを通じて、現代社会の動向を理解すると共に、ヒューマンスキルの向上を目標とする。情報時代に活躍するプロフェッショナルとして、自分のノートパソコンを活用できるよう統計データの受け渡しや分析に、ノートパソコン利用を身に付けることも目標とし、そのため、アクロバットリーダー、パワーポイントなどのソフトの操作の習得も目標とする。

【＜行動目標：S B O＞】

- 1 教室の学生の氏名、出身地、やりたいサークル、座席などを知ることが出来る。
- 2 医療・福祉に関係する近年の社会動向の知識を向上することが出来る。
- 3 4～6人のチームで意見交換し、チームの意見と自分の意見を発表することを通じてヒューマンスキルを向上することが出来る。
- 4 教室内の学生の主な意見を知ることが出来る。
- 5 情報時代におけるパソコンの必要性を知ることが出来る。
- 6 自分のノートパソコンに大学のファイルから担当教官の指定するデータをダウンロードすることが出来る。
- 7 上記のダウンロードしたファイルを蓄積し、分析することが出来る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題
1	ガイダンス、第1回座席指定とチーム編成指定、チームメンバーと名刺交換し、自己紹介。		
2	第1回座席表配布。リハビリ革命。	1, 2, 3	講義、チーム討議、意見提出
3	救命救急士問題	2, 3, 4	講義、チーム討議、意見提出
4	医療ミス問題	2, 3, 4	講義、チーム討議、意見提出
5	第2回座席指定、狂牛病問題	1, 2, 3, 4	講義、チーム討議、意見提出
6	トレーサビリテイ	2, 3, 4	講義、チーム討議、意見提出
7	ハーバード大学医学部。ハーバード大学法学部	2, 3, 4, 5	講義、チーム討議、意見提出
8	都道府県別医療関係統計①	2, 3, 4, 5, 6	データダウンロード、チーム討議
9	都道府県別医療関係統計②	2, 3, 4, 5, 6	ダウンロード、チーム討議
10	都道府県別医療関係統計③	2, 3, 4, 5, 6	ダウンロード、チーム討議
11	在院日数と高齢化、病床数との関係	2, 3, 4, 5, 7	ダウンロード、チーム討議
12	第3回座席指定、介護事故例	1, 2, 3, 4	講義、チーム討議、意見提出
13	介護事故防止策	2, 3, 4	講義、チーム討議、意見提出
14	まとめ	2, 3, 4	課題レポート提出

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	使用しない。			
参考書	「ネクスト・ソサエティ」	P. F. ドラッカー	ダイヤモンド社	2002年 2200円
	「ハーバード医学部」	ジョン・ランゴーン	三修社	2000年 2800円
その他の資料	各種社会統計を各自のパソコンにダウンロードすることを求める。 新聞やテレビ報道等の内容も使用する。			

【評価方法】 毎回のチーム討議と意見提出および提出した課題レポートの内容を総合し評価する。期末試験は行わない。	【履修上の留意点】 第1回目に着席した座席を基礎に、変更も含め、座席を指定し、4～6人のチームを編成し、チーム討議を行う。チームは数回再編成。名札着用のこと。教科書は使用せず統計資料等は、学生自身のパソコンに学生がダウンロードする方式なのでパソコンの早期習得が望ましい。
--	--